

経営比較分析表（令和元年度決算）

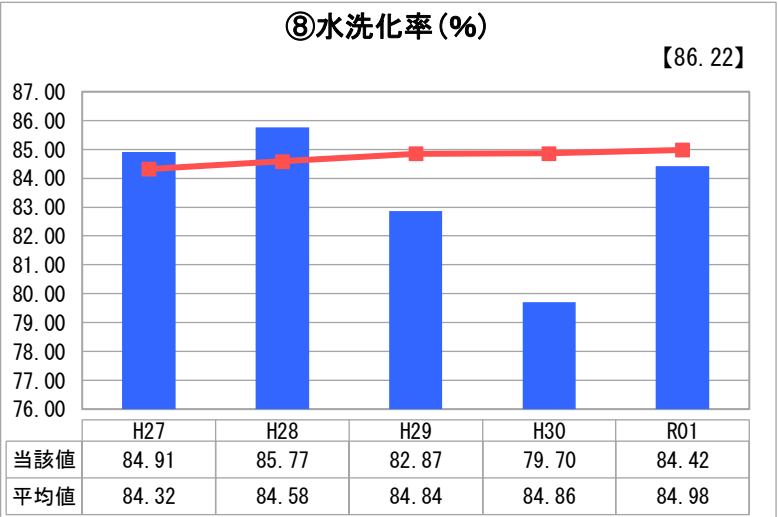
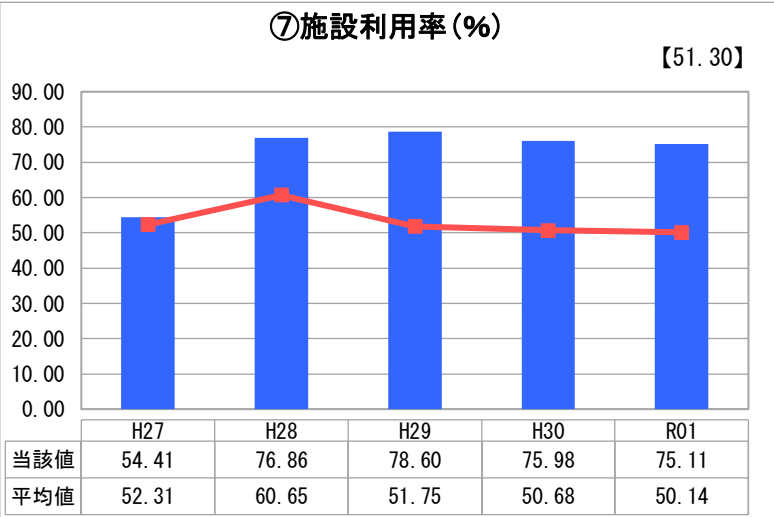
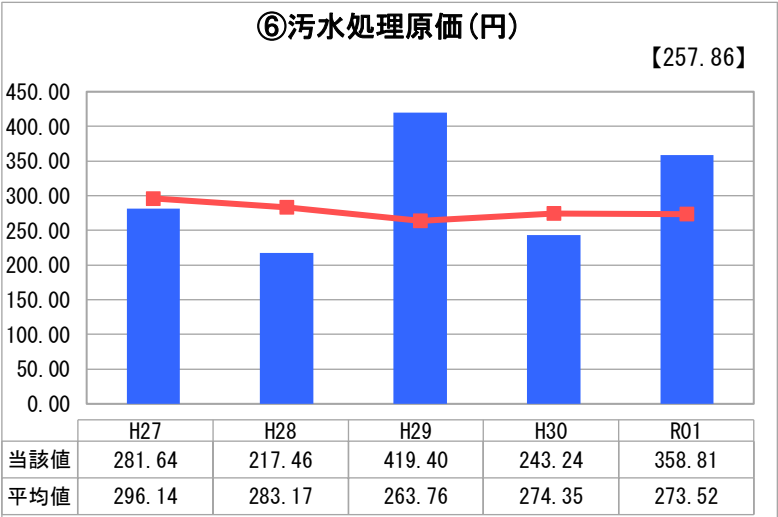
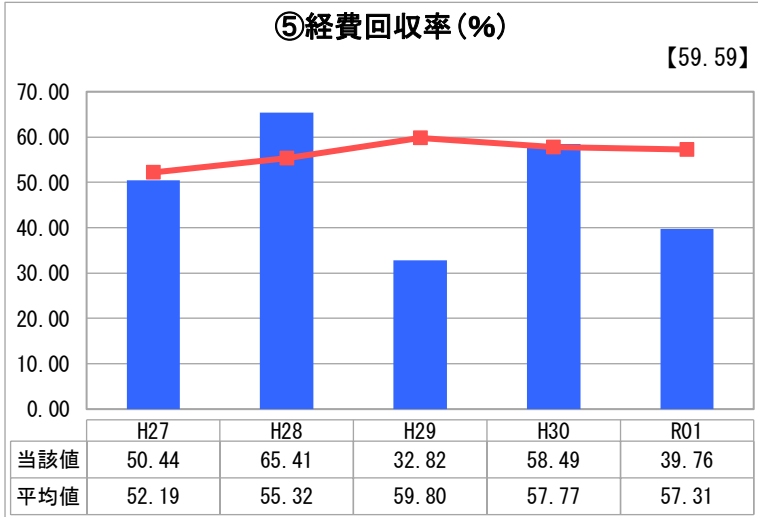
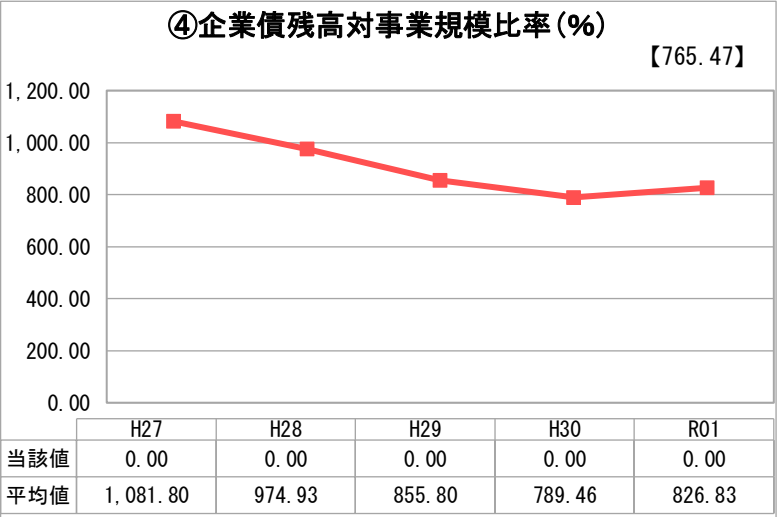
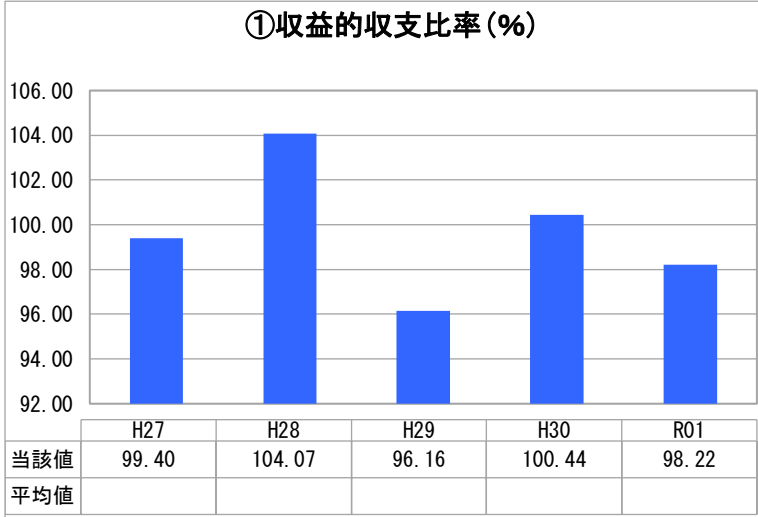
千葉県 横芝光町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.87	100.00	3,850

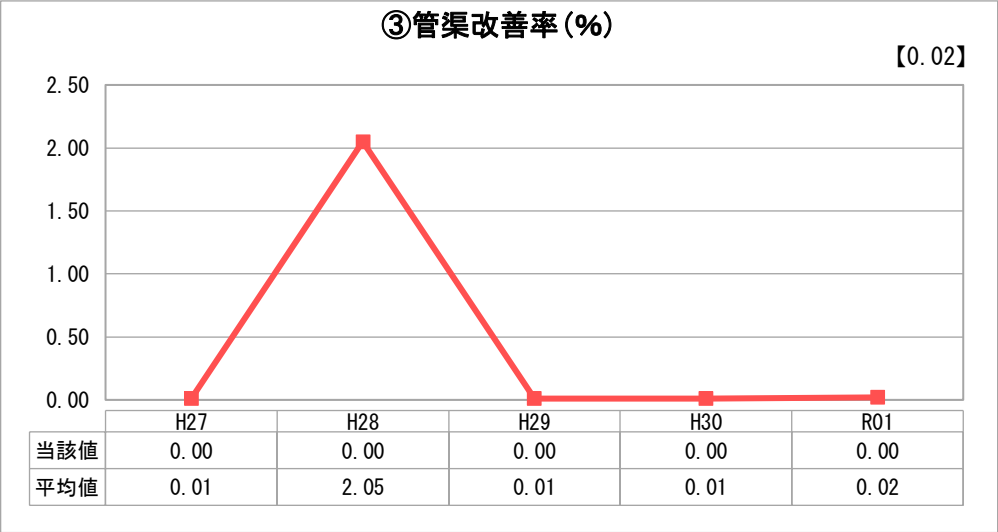
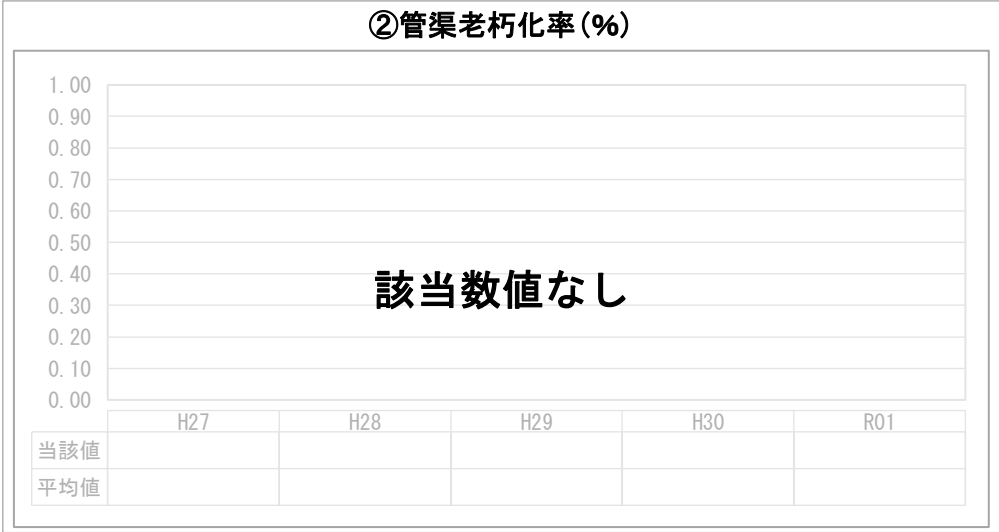
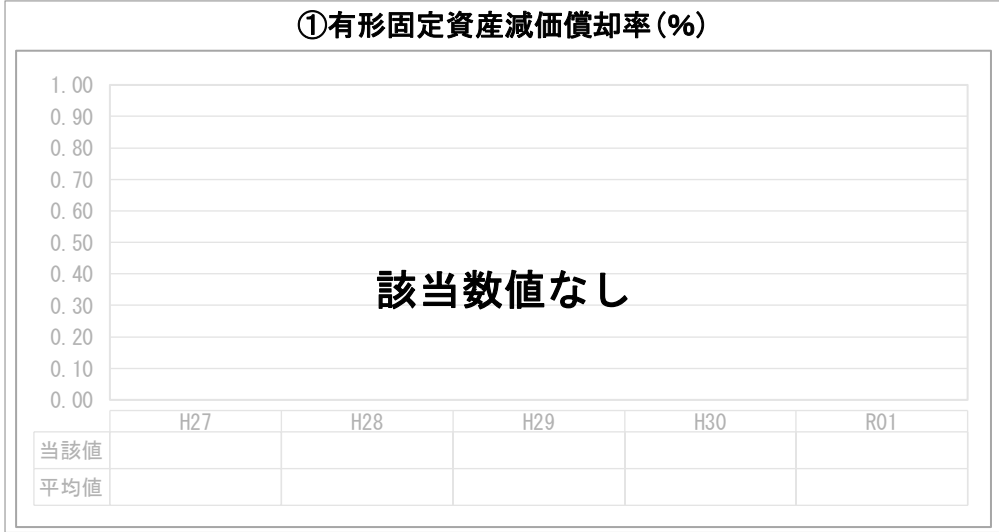
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,587	67.01	351.99
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
674	0.39	1,728.21

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、令和元年度は98.22%で100%を下回った。要因は、台風被害対応による維持管理費(委託料・修繕料)の増によるものである。

④企業債残高対事業規模比率は、H27からR01まで0.00%となっているが、これは、一般会計からの繰入金で賄っているためである。

⑤経費回収率は、台風被害対応による維持管理費(委託料・修繕料)の増により、減少した。

⑥汚水処理原価は、台風被害対応による維持管理費(委託料・修繕料)の増により増加した。

⑦施設利用率は、類似団体に比べ高い稼働率であり、適正に稼働している。

⑧水洗化率は、類似団対と比べ下回った。地区全体の人口が減少している状況だが、更なる接続増加に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率は、H27からR01まで0.00%である。これは改善を要する管渠がなかったため。

しかしながら今後管渠の老朽化が進み、更新が必要となることから、H29に実施した機能診断・最適整備構想に基づき、中長期的な事業計画を策定し、健全な経営を図る。

全体総括

直接の維持管理費については、概ね使用料で賄うことができるが、人件費、公債費を含めると財源不足となるため、一般会計からの負担を必要としている。また、令和3年度から予定している公営企業会計法適用移行業務委託に係る、地方債償還金が発生する見込みである。

今後、施設・設備等の老朽化が進んでいくことから、H29に実施した機能診断・最適整備構想に基づき、中長期的な事業計画を策定し、健全な経営を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。